

# 大谷10勝2桁本塁打

## ルース以来104年ぶり

## イチロー超え通算118号も

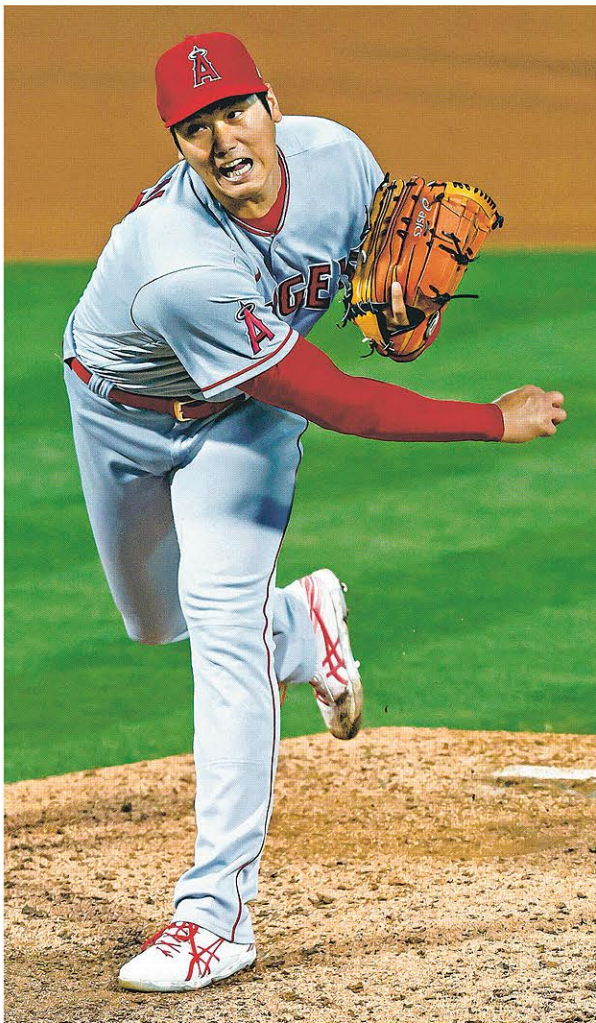
【オークランド(米カリフォルニア州)共同】米大リーグ、エンゼルスの大谷翔平(28)が9日、カリフォルニア州のオークランドで行われたアスレチックス戦で投手として今季10勝目を挙げ、1918年のベーブ・ルース以来、104年ぶりの「2桁勝利、2桁本塁

打」を達成した。投打の「二刀流」で新たな金字塔を打ち立てた。

大谷は三回には日米通算千奪三振を達成。打者では七回に25号ソロを放って、メジャー通算118号となり、日本人大リーガーでイチローを抜いて単独2位となった。

昨季は46本塁打、9勝であと一歩届かなかった。今季は7月23日に20号をマーク。投手ではオールスター戦までの前半戦に9勝を挙げたが、後半戦に入り3連敗。4度目の挑戦で、メジャー自己最多の10勝に到達した。

大谷はプロ野球日本ハム時代の1918年に13勝、11本塁打の成績を残した。2014年と16年に「ダブル2桁」を記録。エンゼルス入りした18年は22本塁打、投手では4勝。同年10月に右肘を手術し、19年は打者に専念。投手での本格復帰は昨年だった。ルースはレッドソックス



大谷 翔平(おおたに・しょうへい)岩手・花巻東高から2013年にドラフト1位でプロ野球日本ハム入り。投打の「二刀流」で活躍し、14年に11勝、10本塁打でプロ野球史上初の「2桁勝利、2桁本塁打」を達成。16年は10勝、22本塁打でパ・リーグ最優秀選手に輝き、日本シリーズ制覇に貢献した。米大リーグのエンゼルスに移籍した18年に4勝、22本塁打で新人王。21年は9勝、46本塁打でア・リーグ最優秀選手となった。193%、95キロ。右投げ左打ち。28歳。岩手県出身。(共同)

アスレチックス戦に「2番・投手兼指名打者」で先発し、投球するエンゼルス・大谷(オークランド(共同))